

2019年1月15日

南海電気鉄道株式会社
交通部台湾鐵路管理局(台鉄)

台鉄において「ラピートブルー」に彩られた、 特別ラッピングの電気機関車が運行しています！

南海電気鉄道株式会社（取締役社長兼CEO：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）と、台湾の交通部台湾鐵路管理局（局長：張 政源、以下「台鉄」）は、台鉄の電気機関車（E200型）2両に、特急ラピートのカラーリングに合わせたラピートブルー（ブルーマイカ）の塗装と、特急ラピートをデザインしたイラストなどの特別ラッピングを施し、2019年1月15日（火）から運行を開始しております。この企画は、台湾・日本の友好を深めるとともに、台湾における特急ラピートおよび大阪の観光名所の認知度を高め、訪日旅行のさらなる促進を目的に実施するものです。

また、運行開始を記念して、2019年1月14日に、台鉄の樹林駅において、発表会を実施いたしました。

詳細は別紙のとおりです。

【塗装・特別ラッピング実施前】



【塗装・特別ラッピング実施後】



別紙 ラピートブルーの塗装と特別ラッピングが施された電気機関車の運行について

1. 運行期間 2019年1月15日（火）から7月13日（土）まで（予定）
2. 運行区間 台鉄 主に七堵駅～潮州駅間
3. 対象列車 台鉄 電気機関車（E200型）2両
4. 列車種別 莒光号(急行列車)
5. デザイン

特急ラピートのカラーリングに合わせたラピートブルー（ブルーマイカ）の塗装と、特急ラピートをデザインしたイラストなどの特別ラッピングを施しています。

- 1両目 台北など先進的な街並みに合うように、シンプルなデザインと文字で大阪と特急ラピートを表しました。



特別ラッピング車両デザイン1両目

- 2両目 車体に大阪らしい“にぎやか”なイメージをデザインしました。特急ラピートや関空戦士ラピートルジャーも描かれています。



特別ラッピング車両デザイン2両目

ラピートブルーの塗装と特別ラッピングが施された電気機関車の発表会について

1. 日 時 2019年1月14日（月） 10時～11時(現地時間)
2. 会 場 台鉄 樹林駅第3ホーム
3. 出席者 交通部 台湾鐵路管理局 行政處 處長 黄 振照
交通部 觀光局 主任秘書 林 坤源
(公財) 日本台湾交流協会台北事務所 經濟部主任 中杉 元
南海電鉄 取締役 営業推進室長 佃 吉朗
4. 式次第 (1) 出席者あいさつ
(2) ラッピング列車入場
(3) 車両お披露目



発表会の様子

【参考①】

○南海電鉄について

1885年（明治18年）12月に、日本最初の純民間資本により創業した阪堺鉄道を前身にした鉄道会社。大阪・難波を起点に、関西国際空港・和歌山市・高野山を結んでおり、営業キロ程は154.8km。

○台鉄について

台湾の国有鉄道で日本の国土交通省に相当する交通部が運営する。日本の「在来線」に相当する鉄道を運営し、台鉄（たいてつ）と略称される。総延長は1,064.5km。

【参考②】台湾における特急ラピートの愛称投票の実施について

台湾では、中国語で「ラピート」という名称が呼びにくいことから、特急ラピートを指す言葉として、お客さまご自身で考えられた様々な愛称が使用されています。

そこで、台北国際旅行博覧会の南海電鉄ブースにおいて、2018年11月23日～26日まで「ラピート愛称総選挙 in 台湾」を実施したところ、1,292件の応募があり、「藍武士号」（ブルー武士号）が最も多い投票を獲得しました。

以上